

新基本構想 構成 - 検討案 -

凡例

3部会報告との関係、視点の提案等

8.28 調整部会の議論より抽出した論点

資料1

将来像について

- ・杉並のイメージ：安全・安心 みどり など
- ・視点：誰もが健やかに暮らす、活力ある50万都市、みんなで作る

これまでの基本構想における将来像

- ・「緑の豊かな福祉文化都市」(昭和52年策定)
- ・「みどり豊かな福祉と文化のまち」(昭和63年策定)
- ・「区民が創る『みどりの都市』杉並」(平成12年策定)

1 基本構想策定の背景

(1) 基本構想とは

区民と区が区政のめざす姿を共有し、ともに力を合わせてこれからの杉並区を築いていくための指針

区政運営のすべての基本とするもの

(2) 新基本構想策定の必要性

時代の変化と杉並区の抱える課題

少子高齢化の進展
(2025年に団塊世代が後期高齢者に)

変化する東京と杉並のまちづくり
(埋没への懸念)

厳しい財政状況と公共施設の更新

3.11の教訓と迫る首都直下型地震への備え

10年後を見据えたビジョン

激しい時代環境の変化に即した、区民がリアリティを実感できる構想をつくる

2 新たな基本構想の理念

東日本大震災を教訓に、各分野で安全・安心を

区民の安全・安心を確保する

安全・安心は区民アンケート1位

住宅都市「杉並」の価値を高める

利便性・快適性など、杉並は50万都市

地域の力を活かす(協働の推進)

共につくる視点

3 杉並区の将来像と目標

【将来像】

(例)

みんなで作る

安全で活力あるみどりの50万都市

すきなみ

【目標】

災害に強く安全に暮らせるまち - 政策分野：防災・防犯 -

・区民の生命を守るために、ハード・ソフトの両面で減災都市「杉並」をつくる。

10年後の姿

建築物の耐震化や不燃化が進められ、狭あい道路が減少するなど、減災の視点からのまちづくりが推進されている。防災態勢の充実・強化や備蓄品の確保などが進められ、まちの防災機能が高まっている。自分たちのまちは自分たちで守る区民の意識や行動力が高まるなど、地域の防災力・防犯力が向上している。

暮らしやすく快適で魅力あるまち - 政策分野：まちづくり、産業 -

・住み続けたい、住んでみたいと思う、にぎわいと活力のあるまちをつくる。

10年後の姿

駅周辺を核として、にぎわいと活力のあるまちづくりが計画的に推進されている。誰もが楽しく快適に利用できる建物や都市空間、交通アクセスの整備などが進められている。区内産業の育成や魅力的な商店街づくりが進められるなど、地域の特性を活かした経済活動が活発化している。

みどり豊かな環境にやさしいまち - 政策分野：環境、みどり -

・自然を活かし育み、共に未来につなぐ豊かな環境のまちをつくる。

10年後の姿

みどりや水辺の環境を守り育て、安らぎと潤い豊かな、自然環境と人の営みが共存するまちの形成が進められている。再生可能エネルギーの利用や省エネルギー対策、資源の有効活用が進められるなど、環境への負荷が少ないまちづくりが推進されている。区民や地域の団体、事業者がそれぞれ地域社会の主体として、環境に関するさまざまな取り組みや自発的な行動が進められている。

健康長寿と支えあいのまち - 政策分野：保健、福祉、医療 -

・一人ひとりの能力と関心を活かして活動できる居場所とつながりがあるまち、互いに支えあいながらひとりでも安心して暮らせるまちをつくる。

10年後の姿

誰もが参加できる心と体の健康づくりの機会と場が整備されるなど、健康長寿のまちづくりが推進されている。区民が、年齢や心身の状況にかかわらず、能力や状況に応じて自分の力を発揮し、いきいきと生活できる環境や仕組みづくりが進められている。介護や援助が必要な人も、家族がいる人もいない人も、住み慣れた地域で安心して暮らしていける仕組みづくりが進められるとともに、支援が必要な人に対するセーフティネットの力が高まっている。

人を育み共につながる心豊かなまち - 政策分野：子育て、教育、文化等 -

・地域における多様なつながりの中で、心豊かで自立心を持った「次代を担う人」を育むまちをつくる。

10年後の姿

すべての子どもたちへの良質な育成環境が整えられ、地域全体で子どもの育ちと子育て家庭を応援するまちづくりが推進されている。一人ひとりの子どもの成長・発達段階に応じた質の高い学校教育が推進されるとともに、子どもたちの心豊かな成長を支援する家庭・地域・学校の連携・協働が進められている。誰もが生涯にわたり、世代や性別、国を超えたさまざまな人々とのかわりの中で、意欲的に学び、文化・スポーツに親しむ環境や仕組みづくりが進められている。

目標、では、大震災後の復興段階を視野に、どのようなまちをめざすのかということが浮き彫りになるまとめ方ができればベター

4 政策の基本的方向と戦略的・重点的な取組み

【災害に強く安全に暮らせるまち】 - 政策分野：防災・防犯 -

安全・安心なまちをつくる

安全・安心なまち 防犯力と防災力が高いまち

戦略的・重点的な取組み

減災まちづくりの推進

- ・まちの不燃化や耐震化、延焼遮断帯となる道路や狭い道路の整備、低層木造密集地域の解消、大規模なオープンスペースの確保など
- ・災害時要援護者対策（発災後、日常生活に戻るまでの中期的な生活支援などを含めて）

【暮らしやすく快適で魅力あるまち】 - 政策分野：まちづくり、産業 -

利便性が高く快適なまち、魅力的で活力あふれるまちをつくる

利便性が高く機能的なまち 誰もが楽しく快適に利用できるまち
魅力的でにぎわいのあるまち 人と人とのつながりをつむぐまち
杉並の魅力を発信するまち

第2部会報告での「全体に共通する課題」を踏まえて

戦略的・重点的な取組み

人口50万都市にふさわしい、杉並の「顔」づくり

- ・区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺まちづくり（南北分断の解消と都市機能の強化）
- ・駅周辺に合わせて商業の活性化を図るなど、地域特性を活かした複数の拠点づくり

・自転車の交通安全やマナーの問題への対応
・若者・現役世代への対応

【みどり豊かな環境にやさしいまち】 - 政策分野：環境、みどり -

人と地球にやさしいまち、安らぎとうるおいのあるまちをつくる

環境負荷の少ないまち ゆとりとうるおいを実感できるまち
一人ひとりが主役の環境のまち

戦略的・重点的な取組み

再生可能エネルギーの活用などによる環境都市づくり

- ・再生可能エネルギーの普及・拡大、省エネルギー・省資源対策など
- みどりがつながるまちづくり
- ・大規模公園などの整備と、拠点となるみどりと住宅等のみどりのネットワーク化など

【健康長寿と支えあいのまち】 - 政策分野：保健、福祉、医療 -

健康でいきいき（と暮らせるまちをつくる）

互いに支えあう（まちをつくる）

ひとりでも安心（して生活できるまちをつくる）

戦略的・重点的な取組み

地域で孤立することのない仕組みづくり

- ・地縁に加えて関心縁を重視した、区民が重層的につながるような仕組み
- 安心の在宅生活を支える仕組みと介護基盤の整備
- ・病院や施設から在宅につなげる仕組みづくりと、在宅サービスの充実・施設整備

商店街での宅配サービスと連携した高齢者の安否確認

【人を育み共につながる心豊かなまち】 - 政策分野：子育て、教育、文化、生涯学習・スポーツ -
すべての子どもへの良質な育成環境を整え、地域全体で子どもの育ちと子育て家庭を応援するまちをつくる

児童虐待関連で、「里親」へのサポート体制

切れ目のない成長・学びの支援」というイメージで大きく括るか

一人ひとりの子どもの成長を支える、より質の高い学校教育を推進する

家庭、地域、学校の連携・協働を進め、子どもたちの心豊かな成長を支援する

誰もが生涯にわたり、世代や性別、国を超えた様々な人々とのかかわりの中で、意欲的に学び、文化・スポーツに親しみ、その学習・活動成果の社会的活用と区内外への文化発信が図れるまちをつくる

戦略的・重点的な取組み

社会環境や区民ニーズの変化に対応した地域子育て支援の充実

- ・子ども・子育てに係る公共施設の配置基準・ネットワークの見直しと、子育て支援の拠点・サービスの充実
- 子どもの「学びの連続性」を重視し、その成長・発達をきめ細かく支える教育の推進
- 家庭・地域・学校の連携・協働の更なる推進
- 生涯学習・スポーツ、文化・芸術活動の基盤・環境整備

5 基本構想を実現するために

(1) 協働の地域社会づくり

区民の参加と協働による支えあいの地域社会づくりの推進

協働による多様な公共サービスの提供

第1部会・第2部会報告での「全体に共通する課題」を踏まえて

情報発信と区民とのコミュニケーション、ネット社会との連携、情報提供体制整備

(2) これからの行財政運営

必要なサービスの提供を可能とする持続的な財政運営

創造的で効率的な自治体経営

- ・効率的な行政の推進
- ・活力ある組織と人材育成
- ・施設の再編整備

区民の安全・安心を確保する危機管理体制の整備

第1部会報告での「全体に共通する課題」を踏まえて

分権型時代における基礎自治体と都・国等との連携・協力

区境の隣接自治体との連携

隣接自治体とのサービスの相互連携など
(例) 武蔵野市の「ムーバス」と「すぎ丸」のタイアップ

(3) 区民と共に育てる基本構想

区民との協働で到達度をチェックし、共に育てる仕組みを構築

第3部会報告での「全体に共通する課題」を踏まえて

・基本構想と総合計画の進捗状況をチェックするシステムが必要
・基本構想づくりに携わった審議会委員が継続的に関与すべき

基本構想については、積極的な区民への周知が必要